

# photography division

## Grand Prix 大賞 / 写真部門

[宿主]

沖 真理子 (オキマリコ, 1973年生まれ, 大阪府)



講評

管 洋志 Hiroshi SUGA

銀塩のストレートな写真では表現しにくかった部分が、デジタルという魔法の杖の一振りですべて複合的に見えてくる——デジタルフォトの可能性をひしひしと感じさせる力作が、ついに私たち審査員の前に現れた。一つひとつの仕掛けといい、ライティングといい、隅々まで計算が行き届いている。色の表現もけっして偶然の産物によるものではなく、狙い通りの処理を経て生まれたにちがいない。そして、1枚1枚の写真からは、いろいろなことの深みを感じさせてしまう。コンセプトに持ってきた家に棲みつく魔性は、誰しもが一度は経験したことのある一瞬であり、言い換えれば人間の中に潜む魔性、日常の中の恐怖である。この作品を見た瞬間、私はゾクッとしたものだ。これまで数多くの先人たちがこのような表現を試みてきたが、それらは常に写真的手法を超えるものはなかった。今年度の大賞「宿主」はデジタルだからこそ、なしえた表現。見たことのない不気味さが見えてくる。満場一致、文句なしの大賞作品である。

■作品サイズ:346×280mm